SR-1 Swathe Reverb

ユーザーマニュアル / バージョン 1.0.0

目次

1. 概要
2. 動作環境とインストール
3. 無料試用・シリアル番号認証・アカウント
4. 画面の見かた
5. Learn の使いかた
6. SOURCE とキャラクター
7. コントロール
8. A/B・Undo・サイズ変更
9. よくある質問とトラブルシューティング
10. サポート

1. 概要

SR-1 は、トラックに合わせて最適化する機能を持ったリバーブプラグインです。

- **Learn**: SOURCE（音の種類）を選び、トラックを再生しながら LEARN を押します。SR-1 が数秒ぶんの音を聴き、Decay・Pre-delay・Mix などを曲と素材に合わせて設定します。
- **SOURCE とキャラクター**: 楽器や役割を SOURCE で、空間の種類をキャラクターで選びます。選ぶだけでも、組み合わせに合った値が入ります。
- **Unmask**: 元の音が鳴っている間だけ、余韻が元の音とぶつかる帯域を下げます。歌や楽器の輪郭が余韻に埋もれにくくなります。
- **Shaping**: リバーブ成分のみ、歯擦音・息・鋭いアタックを抑えることができます。
- **Delta**: Unmask と Shaping が削った成分だけを聴けます。
- **Wet EQ**: リバーブ成分だけにかかる 4 バンドの EQ とローパス。
- **Insert と Send**: トラックに直接挿す使い方と、センド（リターン）で使う使い方の両方に対応します。
- A/B 比較と Undo / Redo。モノラルとステレオに対応しています。
- **レイテンシー**: 44.1 / 48 kHz で 1024 サンプル（48 kHz で約 21 ms）です。88.2 / 96 kHz では 2048、176.4 / 192 kHz では 4096 サンプルなので、時間にするとどれも約 21〜23 ms です。

2. 動作環境とインストール

項目	内容
OS	Windows 11（64 bit）/ macOS 13 (Ventura) 以降（Apple Silicon・Intel の両方に対応）
形式	VST3（Windows / macOS）/ Audio Unit（macOS のみ）
対応ホスト	VST3 または Audio Unit に対応した DAW
インターネット	シリアル番号の認証時と、その後少なくとも 30 日に 1 回の確認（通常は約 1 日に 1 回、自動）に必要です。常時オフラインのコンピューターは、オフライン認証で使えます（3 章）

インストールの手順（Windows）

1. aideaudio.com から、インストーラー（SR-1_Installer_v1.x.x.exe）をダウンロードして実行します。SR-1 の製品ページの「ダウンロード（Windows）」ボタンか、アカウントページ（ダッシュボード）の「ライセンス」にある SR-1 の行の「Win」ボタンからダウンロードできます。
2. 管理者権限を求められます。許可すると、インストーラーの画面が開きます。
3. 使用許諾契約書（EULA）が表示されます。内容を確認し、同意すると先へ進めます。
4. インストール先を選びます。
5. 内容を確認して、インストールを実行します。終わったら DAW を起動し、プラグインを再スキャンすると、一覧に SR-1 が表示されます。

アンインストールは、Windows の「インストールされているアプリ」（表示名: AIDE AUDIO SR-1 ver1.x.x）から行います。インストール先フォルダーの SR-1Uninstaller.exe でもできます。

インストールの手順（macOS）

【要確認: macOS の .pkg を実際に作り、ファイル名・インストール先・アンインストールの手順を照らす】

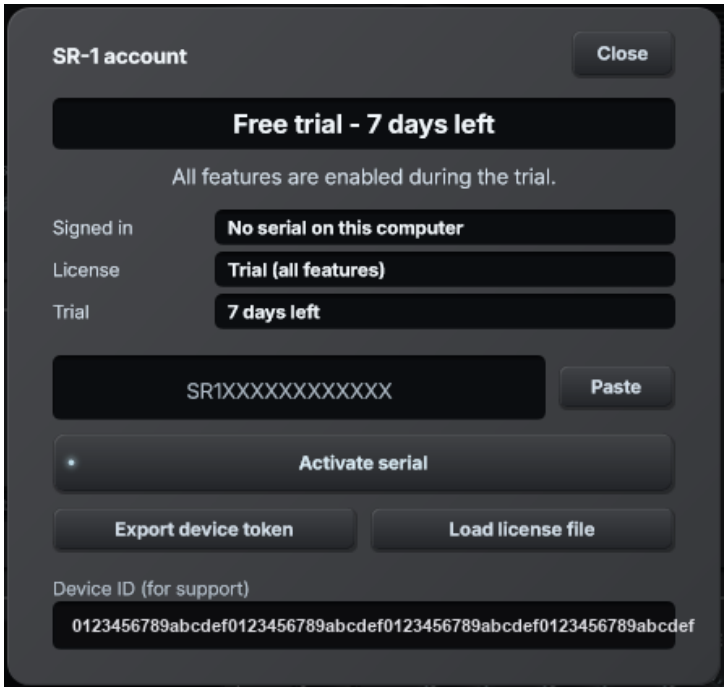
1. aideaudio.com から、インストーラー（SR-1_Installer_v1.x.x.pkg）をダウンロードして開きます。SR-1 の製品ページの「ダウンロード（macOS）」ボタンか、アカウントページ（ダッシュボード）の「ライセンス」にある SR-1 の行の「macOS」ボタンからダウンロードできます。
2. 使用許諾契約書（EULA）が表示されます。内容を確認し、同意すると先へ進めます。
3. 画面の指示に従ってインストールします。管理者のパスワードを求められたら入力してください。VST3 は /Library/Audio/Plug-Ins/VST3、Audio Unit は /Library/Audio/Plug-Ins/Components に入ります。
4. 終わったら DAW を起動し直し、プラグインを再スキャンすると、一覧に SR-1 が表示されます。

アンインストールは、Finder で上の 2 つのフォルダーから SR-1.vst3 と SR-1.component をゴミ箱に入れて行います。

3. 無料試用・シリアル番号認証・アカウント

3.1 無料試用

- SR-1 は、**全機能を 14 日間無料で試せます**。
- 試用は、SR-1 のウィンドウを初めて開いたときに始まります。
- ウィンドウ上部の？の右にある人型のアカウントボタンにマウスを乗せると、状態が出ます: **TRIAL: 14 DAYS**（数字は残りの日数）、**LICENSED**、**TRIAL ENDED**、**ONLINE CHECK**。対応が必要な状態では、人型が琥珀色になります。クリックするとアカウント画面が開きます。



試用期間中のアカウント画面。下部のデバイス ID は見本の表示です。

> **警告**: 試用期間が終わり、シリアル番号も認証していないと、SR-1 は**音をバイパスします**。ウィンドウを開くとアカウント画面が表示されます。続けて使うには、シリアル番号を入力してください（次項）。

この状態では、LEARN ボタンに「License required」と表示され、押しても Learn は始まりません。

3.2 シリアル番号の認証

- アカウントボタンをクリックし、シリアル番号（SR1 に続く英数字 12 文字）を入力して **Activate serial** をクリックします。コピーしたシリアル番号は **Paste** で貼り付けられます。
- まだお持ちでなければ、**Buy SR-1** をクリックすると、ブラウザーで購入ページが開きます。
- 認証できると「Licensed - thank you!」と表示され、アカウントボタンの状態が **LICENSED** になります。

3.3 1 つのシリアル番号で 3 台まで

1 つのシリアル番号は、最大 **3 台**のコンピューターで有効にできます。別のコンピューターへ移すときは、先に移行元のコンピューターで Sign out を行い、枠を空けてください。

- アカウント画面を開き、**Sign out** をクリックします。このコンピューターからライセンスが削除され、サーバー側の枠も空きます（「Signed out. This device slot is free again.」）。
- SR-1 がサーバーに接続できなかったときは「Signed out here, but the slot is still used. Free it under Activated Devices on your account page.」と表示されます。この場合は、aideaudio.com のアカウントページでライセンスの行を開き、「認証デバイス」の一覧から、そのコンピューターを解除してください。

3.4 オフライン認証

インターネットにつながらないコンピューターは、つながる別のコンピューターを使って認証します。

1. オフラインのコンピューターでアカウント画面を開き、シリアル番号を入力して **Export device token** をクリックします。小さなテキストファイル（SR-1-device-token.txt）を保存します。
2. インターネットにつながるコンピューターで、aideaudio.com のアカウントページ（ダッシュボード）にログインします。SR-1 のライセンスの行の矢印で詳細を開き、「認証デバイス」の一覧の下にある「オフライン認証」ボタンをクリックします。デバイストークン（.txt）を選ぶと、ライセンスファイル（拡張子 **.aidelicense**）が保存されます。
3. ライセンスファイルをオフラインのコンピューターへコピーし、アカウント画面の **Load license file** をクリックして選びます。

オフラインのライセンスは、そのコンピューター 1 台でだけ使えます。アカウント画面には「Full version (offline license)」と表示されます。

3.5 デバイス ID

アカウント画面の下部に、このコンピューターの**デバイス ID**（画面の表示は Device ID、64 文字）が表示されます。シリアル番号を認証できないときは、この ID をサポートへお送りください。クリックすると選択され、コピーできます。

4. 画面の見かた

ウィンドウは上から下へ、使う順に並んでいます。上段で SOURCE を選んで Learn し、中段と下段のつまみで仕上げます。



Learn の後の SR-1。番号は下の表に対応します。

No.	部分	役割
1	**?** ボタン	メニューを開きます: Send feedback...、Manual、Support、バージョン（10 章）
2	アカウントボタン（人型）	アカウント画面を開きます。マウスを乗せると試用・ライセンスの状態が出ます
3	A / B / A>B	設定の比較（8.1）
4	UNDO / REDO	操作の取り消しとやり直し（8.2）
5	Source	音の種類を選ぶメニュー。上の段に分類、下の段に名前が出ます（5・6 章）
6	Character	空間の種類。Auto のときは、Auto が選んだ種類が括弧の中に出ます（6.2）
7	Routing	Insert と Send の切り替え（5.2）
8	LEARN ボタン	Learn の開始と中止。聴いている間は進み具合を表示します
9	舞台	余韻の図（Tail）と Wet EQ（7.7・7.8）
10	Tail / EQ	舞台に出すものを切り替えます。最後に選んだほうを覚えています
11	MIX / OUTPUT	余韻の量と出力レベル（7.6）
12	IN / OUT メーター	入力と出力のピーク。目盛りは 0〜-36 dB（7.9）
13	TIME	Size・Decay・Pre-delay・Attack（7.1）
14	COLOR	Brightness・Low cut・Low decay（7.2）
15	IMAGE	Width・Motion（7.3）
16	UNMASK	量・速さ・Delta（7.4）

No.	部分	役割
17	REDUCTION	Unmask が帯域ごとに下げている量
18	SHAPING	量・Sibilance・Breath・Transient・Delta（7.5）
19	EARLY	ER level・Diffusion（7.6）
20	右下の角	ドラッグでウィンドウの大きさを変えます（8.3）

つまみの共通の操作

・　上下にドラッグして値を変えます。**Shift** キーを押しながらドラッグすると、約 6 分の 1 の細かさで微調整できます。

・　**ダブルクリック**すると、値を数字で入力できます。

・　つまみを動かしている間は、名前・値・短い説明が小さな窓に出ます。中段と下段のつまみやボタンは、マウスを 1 秒ほど乗せておくと説明が出ます。

基準値からずらした印

SOURCE・キャラクター・Learn が入れた値を、SR-1 は基準値として覚えています。つまみを基準値からずらすと、つまみの輪に、基準値の位置を示す**白い印**が出ます。つまみを動かしている間の小さな窓には、基準値も「Suggested: ...」と出ます。印は表示だけで、押しても値は戻りません。基準値に戻したいときは Undo を使うか、もう一度 Learn してください。

5. Learn の使いかた

5.1 手順

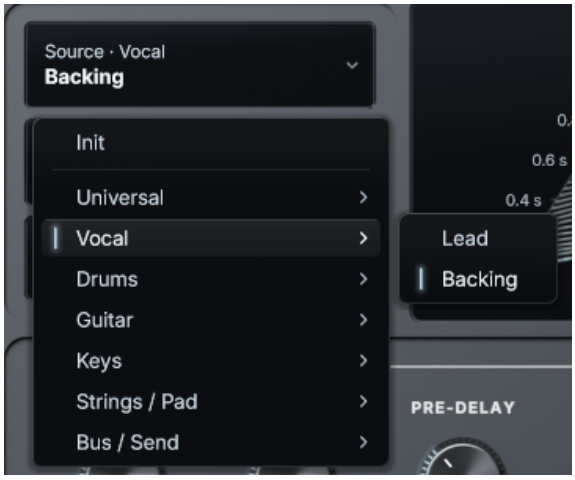
1.　**Routing** で、SR-1 の使いかたを選びます: トラックに直接挿すなら **Insert**、センド（リターン）のトラックに挿すなら **Send**（5.2）。

2.　**Source** のメニューで、音の種類を選びます（6.1）。迷ったら **Universal › Natural** のままで構いません。

3.　DAW で再生を始めます。曲の中で、その音がしっかり鳴っている部分を使ってください。

4.　**LEARN** をクリックします。ボタンに「Listening... 40%」のように進み具合が出ます。

5.　100 % になるまで再生を続けます。終わるとつまみが新しい値へ動き、ボタンの表示が **Learned** になります。



Source のメニュー。左が分類、右が名前です。

・　Learn が数えるのは、-60 dBFS より大きい実際の音だけです。無音や小さすぎる部分は数えず、必要な長さがたまるまで終わりません。必要な長さは SOURCE によって 6〜12 秒で、Send ではさらに 4 秒長く

なります。

- 再生を始めて 3 秒たっても音がほとんどたまらないと、ボタンに「Waiting for a signal...」と出ます。再生位置と、SR-1 に音が届いているかを確かめてください。
- 聴いている途中でボタン（**Cancel**）を押すと、Learn を中止します。設定は変わりません。
- 聴いている間は、Routing・Source・Character を変えられません。
- DAW にテンポがあれば、Decay と Pre-delay は、次の拍やフレーズの頭までに余韻が収まるように決まります。

5.2 Insert と Send

	Insert	Send
挿す場所	楽器やボーカルのトラック	センド（リターン）やバスのトラック
Mix	ご自身で決めます。Learn も Mix を提案します	**100 % に固定**されます（つまみは灰色になります）
Learn が聴く音	そのトラックの音	複数のトラックが混ざった音。聴き方を変え、少し長く聴きます

Send で Mix を 100 % に固定するのは、元の音がリターンに漏れて二重に鳴らないようにするためです。元の音と余韻の割合は、DAW のセンド量で決めてください。

5.3 Learn が設定する値

Learn は、聴いた音から次の値を決めて、つまみに書き込みます。

- Decay・Pre-delay: テンポと、音の詰まり具合から
- Brightness・Low cut: 周波数の分布から
- ER level: アタックの鋭さから
- Shaping の量と Sibilance / Breath / Transient の割合、Unmask の量
- Size と Mix（Mix は Insert のときだけ）
- Character が Auto のときに使う空間の種類

次の値は Learn では変わりません: Attack・Low decay・Width・Motion・Diffusion・Unmask の Speed・Wet EQ・Output。

6. SOURCE とキャラクター

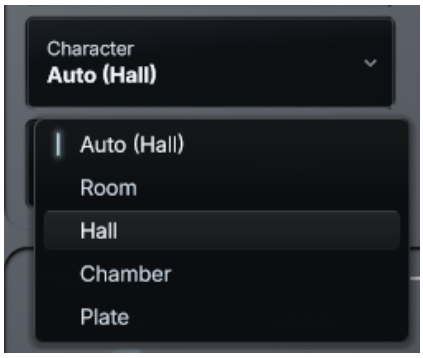
SR-1 にはプリセットがありません。代わりに、何の音かを SOURCE で、どんな空間かをキャラクターで選びます。選ぶと、その組み合わせに合った値がつまみに入ります。Learn の前は、その種類の典型的な素材を想定した値です。

6.1 SOURCE

分類	名前	向く使いかた
Universal	Natural / Subtle / Lush	何の音でも。どれだけ響かせたいかで選びます: 標準 / 短く控えめ / 長く豊か
Vocal	Lead / Backing	リードボーカル / コーラス
Drums	Full Kit / Snare / Kick-Tom / Perc	キット全体 / スネア / キックとタム / 打楽器
Guitar	Electric / Acoustic	エレキギター / アコースティックギター
Keys	Piano / EP-Organ / Synth	ピアノ / エレピとオルガン / シンセ
Strings / Pad	Strings / Pad	弦楽器 / パッド
Bus / Send	Mix / Vocal Bus / Drum Bus	ミックス全体 / ボーカルのバス / ドラムのバス

メニューの先頭の **Init** は、SR-1 を、プラグインを挿した直後と同じ状態に戻します。すべてのつまみ、SOURCE とキャラクター、Learn の結果、Routing が初期設定に戻ります。

6.2 キャラクター



Character のメニュー。Auto には、いま選んでいる種類が添えられます。

キャラクター	響き
Auto	SOURCE と Learn の結果から、下の 4 種類のどれかを選びます（初期設定）
Room	小さな部屋。反射の間隔が短く、すぐに密になります。やや暗めです
Hall	大きなホール。反射の間隔が長く、ゆっくり密になり、揺れがやや多めです
Chamber	響きのよい部屋。密でなめらかで、中域が豊かです
Plate	プレートリバーブ。一瞬で密になり、明るい響きです。初期反射を持ちません

- Auto を選んでいる間は、欄に「Auto (Hall)」のように、Auto が選んだ種類が出ます。Auto は SOURCE ごとの既定から始まり、Learn の結果（テンポ・音の詰まり具合・アタックの鋭さ）で別の種類に変わることがあります。
- キャラクターを手で選ぶと、その種類らしい Decay・Pre-delay・Size に移ります。
- 種類を切り替えても、音は途切れずになめらかに移ります。

6.3 手で回した分は残る

SOURCE・キャラクター・Learn が入れた値は、つまみの基準値です。そこからご自身で回した分は、**基準値からのずれ**として扱われます。

- SOURCE やキャラクターを替えると、新しい基準値に、それまでのずれを足した値へつまみが動きます。たとえば Decay を基準値より少し長めにしていれば、SOURCE を替えても少し長めのままです。
- Learn をやり直したときだけ、ずれは 0 に戻ります。

- ずれはプロジェクトと一緒に保存されるので、開き直しても残ります。
- SOURCE やキャラクターの 1 回の変更は、書き換わったつまみも含めて Undo の 1 手です。

7. コントロール

下の値は、パラメーターの範囲と初期設定（プラグインを挿した直後の値）です。

7.1 TIME

コントロール	範囲	初期設定	役割
Size	0〜100 %	50 %	部屋の大きさ。大きくすると反射の間隔が広がり、余韻がゆっくり濃くなります。余韻の長さは Decay で決めます
Decay	0.10〜20.00 s / 0.25〜32 beat	2.00 s / 4 beat	余韻が消えるまでの時間
Pre-delay	0〜500 ms / 1/32〜1/2	20 ms / 1/8	元の音から余韻が始まるまでの間。長くすると音の頭が余韻に埋もれず、前に出て聞こえます
Attack	0〜250 ms	0 ms	余韻の立ち上がり。0 ms ではすぐに始まり、上げると余韻が音の後ろからふくらむように立ち上がります。初期反射は変わりません

- Decay と Pre-delay は、値の窓の中の切り替えで単位を選べます。Decay は **s**（秒）と **beat**（拍）、Pre-delay は **ms** と **note**（音符の長さ: 1/32・1/16T・1/16・1/8T・1/8・1/4T・1/4・1/2）です。拍と音符は DAW のテンポに合わせて動きます。
- Attack は、元の音のアタックに余韻がかぶって濁るのを防ぎます。

7.2 COLOR

コントロール	範囲	初期設定	役割
Brightness	0〜100 %	50 %	余韻の明るさ。上げると明るく軽く、下げると暗く温かくなり、高域が早く消えます
Low cut	20〜1000 Hz	100 Hz	余韻の低域だけを削ります。ミックスの低域が濁るのを防ぎます。元の音には触れません
Low decay	x0.25〜x4.00	x1.00	低域（約 250 Hz 以下）の余韻の長さを、Decay に対する倍率で決めます。下げると低域が締まり、上げると豊かになります

Brightness は、高域の余韻の長さ（Decay の 0.25〜4 倍）と、高域の量（±8 dB）を一緒に動かします。

7.3 IMAGE

コントロール	範囲	初期設定	役割
Width	0〜200 %	100 %	余韻のステレオの幅。0 % でモノラル、100 % で通常の広がり、200 % でさらに広くなります
Motion	0〜100 %	30 %	余韻の中のゆっくりした揺れ。余韻の金属的な響きを消します。上げると深く、少しだけ速くなります

Motion を上げても、音程の揺れは 20 セント以内に収まります。

7.4 UNMASK

Unmask は、元の音が鳴っている間だけ、余韻が元の音とぶつかる帯域を下げます。下げるのはその帯域だけで、元の音が余韻よりずっと大きい帯域にも触れません（余韻はすでに隠れているため）。フレーズの切れ目では余韻が戻ります。

コントロール	範囲	初期設定	役割
Amount	0〜100 %	0 %	効きの強さ。上げるほど元の音がはっきりします
Speed	Fast / Med / Slow	Med	余韻を下げて戻す速さ
Delta	オン / オフ	オフ	Unmask が削った成分だけを聴きます

右の **REDUCTION** には、Unmask がいま帯域ごとに下げている量が、上から下へ伸びる棒で出ます（棒いっぱいで 24 dB）。

7.5 SHAPING

Shaping は、リバーブに送る音から歯擦音（サ行など）・息・鋭いアタックを抑え、それらが余韻の中で広がって濁るのを防ぎます。元の音には触れません。

コントロール	範囲	初期設定	役割
Amount	0〜100 %	0 %	抑える量
Sibilance	0〜100 %	100 %	歯擦音に振り向ける割合。余韻の中でサ行が耳につくときに上げます
Breath	0〜100 %	100 %	息の音に振り向ける割合
Transient	0〜100 %	100 %	ドラムやピッキングなど、鋭いアタックに振り向ける割合
Delta	オン / オフ	オフ	Shaping が削った成分だけを聴きます

Delta は、削りすぎていないかを耳で確かめるための機能です。Unmask と Shaping の Delta は、どちらか一方だけをオンにできます。オンの間は下段のパネルの縁が珊瑚色になるので、確かめ終わったらオフに戻してください。

7.6 EARLY と MIX / OUTPUT

コントロール	範囲	初期設定	役割
ER level	-inf〜+12 dB	0.0 dB	余韻に対する初期反射の量。上げると、音のまわりの部屋がよく聞こえます。いちばん下（-inf）で初期反射がなくなります。Plate には初期反射がないので効きません
Diffusion	0〜100 %	70 %	反射の混ざり具合。上げるとなめらかで密に、下げると反射が粒になって聞こえます
Mix	0〜100 %	30 %	出力に含める余韻の量。Send では 100 % に固定されます
Output	-24〜+12 dB	0.0 dB	SR-1 の出力レベル

7.7 Tail（余韻の図）

舞台の右上で **Tail** を選ぶと、いまの設定で鳴る余韻の形が出ます。横軸が周波数、奥行きが時間（手前が 0 秒）で、どの帯域の余韻がどこまで残るかを読めます。入力の音が立ち上がるたびに、光が手前から奥へ走ります。

図は表示だけで、ドラッグなどの操作はできません。Windows の「設定 > アクセシビリティ > 視覚効果 > アニメーション効果」をオフにしていると、光は走りません。

7.8 Wet EQ

舞台の右上で **EQ** を選ぶと、余韻だけにかかる EQ が出ます。元の音には触れません。



Wet EQ。上の列に、選んだ点の値が出ます。

点	範囲	初期設定
バンド 1〜4	20 Hz〜20 kHz・±12 dB・Q 0.30〜8.00	180 Hz / 400 Hz / 3 kHz / 8 kHz、0 dB
ローパス	1 kHz〜20 kHz（右端で Off）	Off
ハイパス	中段の **Low cut** と同じ	100 Hz

- バンドの点を**ドラッグ**すると周波数とゲイン、**マウスホイール**で Q が変わります。
- 点を**ダブルクリック**すると、値を数字で入力できます。Tab キーで Freq → Gain → Q と進みます。
- 上の列の形のボタン（例: **Bell**）を押すと、選んでいるバンドの形が切り替わります。選べる形は、バンド 1 と 2 が Low Shelf と Bell、バンド 3 と 4 が High Shelf と Bell です。
- ローパスの点は横にドラッグします。右端まで動かすと Off です。
- ハイパスの曲線は Low cut の値を表示しているだけで、点はつかめません。低域のカットは中段の Low cut で動かします。

7.9 メーター

IN と OUT の棒がピークのレベルを表します。棒の上の数字はこれまでのピークの最大値で、**クリックするまで下がりません**。0 dBFS に達すると、数字の下の赤い印が点灯し、クリックするまで点灯したままです。OUT の印が点灯したら、Output か Mix を下げてください。

8. A/B・Undo・サイズ変更

8.1 A/B 比較

- **A** と **B** は、それぞれ設定一式（つまみと、SOURCE・キャラクター）を持ちます。押して切り替え、聴き比べます。
- 切り替えた直後は、読み込んだつまみの値がそのまま基準値になります（白い印は出ません）。
- **A>B** は、A の設定を B に写します。B を選んでいる間は **B>A** になり、B の設定を A に写します。

8.2 Undo と Redo

- ウィンドウ右上の **UNDO** / **REDO** をクリックするか、**Ctrl+Z**（Undo）、**Ctrl+Y** または **Ctrl+Shift+Z**（Redo）を押します。macOS では Ctrl の代わりに **Command** を使います。先に SR-1 のウィンドウをクリックしておいてください。
- SR-1 のウィンドウでの 1 回の操作が 1 手です。たとえば、つまみや EQ の点の 1 回のドラッグ、SOURCE やキャラクターの 1 回の変更、1 回の Learn、Init です。

8.3 サイズ変更

- 右下の角をドラッグします。縦横比は 16:9 のままです。幅は 896〜1280 ピクセル（初期設定は 1120 x 630）です。
- 大きさは記憶され、次に開いたときもその大きさで開きます。

9. よくある質問とトラブルシューティング

LEARN が「Waiting for a signal...」のまま進まない。再生を始め、SR-1 に -60 dBFS より大きい音が届いているか確かめてください。Send で使うときは、DAW のセンド量が下がりすぎていないかも見てください。

SOURCE やキャラクターを替えたら、つまみが動いた。仕様どおりです。SR-1 は新しい組み合わせに合った値を入れ、ご自身で回したずれはそのまま足します（6.3）。元に戻したいときは Undo を使ってください。

Mix のつまみが灰色で動かない。Routing が Send になっています。Send では Mix が 100 % に固定されます。トラックに直接挿しているなら、Insert に切り替えてください。

余韻が小さい、または途切れて聞こえる。Unmask の Amount が高いと、元の音が鳴っている間は余韻が下がります。Delta で削っている成分を聴き、多すぎるなら Amount を下げるか、Speed を Slow にしてください。

DAW のトラックの音が少し遅れる。SR-1 は約 21 ms のレイテンシーを DAW に伝えています。DAW の遅延補正をオンにしてください。

「Invalid serial format (SR1 + 12 characters).」シリアル番号の打ち間違いを確かめてください。SR1 に続く英数字 12 文字です。0（ゼロ）と O（オー）の取り違えがよくあります。

「Activation failed: ...」コロンのあとの文章はサーバーからのメッセージです。3 台の上限に達しているときは、使わなくなったコンピューターでサインアウトするか、アカウントページでライセンスの行を開き、「認証デバイス」の一覧から解除してください。

「Still checking the saved license. Try again in a moment.」SR-1 が保存済みのライセンスを確認している最中です。少し待ってからやり直してください。

「This license was issued for another computer.」オフラインのライセンスファイルは、デバイストークンを作ったコンピューターでしか使えません。このコンピューターで新しいデバイストークンを書き出してください（3.4）。

「This license has expired. Connect to the internet to renew it.」インターネットに接続して SR-1 を開くと、ライセンスが更新されます。

「Could not save your free trial」/「Could not remove the license from this computer」SR-1 がユーザーフォルダーに書き込めませんでした。フォルダー（Windows では %APPDATA%\AIDE AUDIO、macOS では ~/Library/AIDE AUDIO）に書き込めるか確かめてください。

10. サポート

ヘルプメニュー

ウィンドウ左上（AIDE AUDIO のロゴの隣）の **?** ボタンをクリックします。

- **Send feedback...**: ご意見や不具合の報告を AIDE AUDIO へ送る画面を開きます（下記）。
- **Manual**: マニュアルをブラウザーで開きます。
- **Support**: AIDE AUDIO のお問い合わせページを開きます。
- 最後の行はバージョンです。サポートへ連絡するときは、これも添えてください。

フィードバックの送信

Send feedback... を選ぶと、フィードバックの画面がウィンドウの上に開きます。

1. 種類を選びます: **Feature request**（機能の要望）/ **Bug report**（不具合の報告）/ **Other**（その他）。
2. 本文を書きます（4000 文字まで）。
3. **Send** をクリックします。

送られるのは、本文・種類・製品名・SR-1 のバージョン・OS 名・DAW 名だけです。

新しいバージョンのお知らせ

新しいバージョンが公開されると、ウィンドウの右上に「Update available - v1.0.1」のような小さな通知が出ます。

- 通知をクリックすると、ブラウザーで製品ページが開きます。
- 通知をクリックするか右上の × で閉じると、その版の通知は出なくなります。もっと新しい版が出れば、また表示されます。
- 閉じずに DAW を終了した場合は、次に開いたときにもう一度表示されます。

新しい版を確かめるため、DAW を起動して初めて SR-1 の画面を開いたときに、製品名だけを AIDE AUDIO のサーバーへ送ります。シリアル番号やデバイス ID は送りません。

連絡先とウェブサイト

- **ウェブサイト**: https://aideaudio.com/
- **アカウントページ**: ライセンスの管理、インストーラーのダウンロード、認証デバイスの一覧（コンピューターの解除）。
- **サポート**: https://aideaudio.com/contact のお問い合わせフォーム（プラグインの **?** メニューの Support からも開けます）か、support@aideaudio.com。認証のトラブルでは、シリアル番号とアカウント画面のデバイス ID を添えてください。

ライセンスについて

このプラグインの再配布・共有は禁止です。1 つのシリアル番号は最大 3 台のコンピューターで使えます。シリアル番号の認証・更新・解除のために、SR-1 はシリアル番号・製品名・デバイス ID（コンピューターの識別子を一方向ハッシュにした値）・コンピューター名を AIDE AUDIO のサーバーへ送ります。コンピューター名は、ダッシュボードの認証デバイスの一覧に表示するために使います。試用期間とライセンスはお使いのコンピューターに保存され、DAW のプロジェクトには入りません。